国立病院機構（NHO）宇都宮病院院内広報誌

わかあゆ

WAKA-AYU

基本理念

1　私たちは、政策医療ならびに地域ニーズに応じた一般医療をおこないます。

2　私たちは、患者様の立場や権利を尊重し、患者様中心の医療をおこないます。

3　私たちは、良質で安全な医療を提供します。

4　私たちは、常に改革心を持ち、健全な経営をめざします。

目　次

2007 October
第５号
発　行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 19年 10月 1日
発行責任者：沼　尾　利　郎

■内視鏡センター完成のご案内 …… 1
■物忘れと認知症 …… 2
■くすりの知識【4】　高齢者 …… 3
■看護部トピックス「ふれあい看護体験」…… 4
■研修報告 …… 5
■職場紹介 …… 6
■外来診療担当医表 …… 7

内視鏡センター完成のご案内

"より安全で、苦痛の少ない、精度の高い内視鏡検査"をめざして

内視鏡センター長·消化器内科医長　小 嶋 和 夫

当院では、病院改革プロジェクトにともなう患者様および内視鏡検査件数の増加に対応し、患者様により快適に内視鏡検査を受けていただけるよう、従来の内視鏡室を旧東1病棟に移転·拡充し、あらたに内視鏡センターとして完成、平成19年9月20日より運用を開始しましたので、ご案内申し上げます。

内視鏡センターの目玉は、㈰待合室·回復室の整備、㈪経鼻内視鏡の導入、㈫拡大内視鏡やNBI（狭帯域光観察）による特殊光観察システムの導入の3点です。

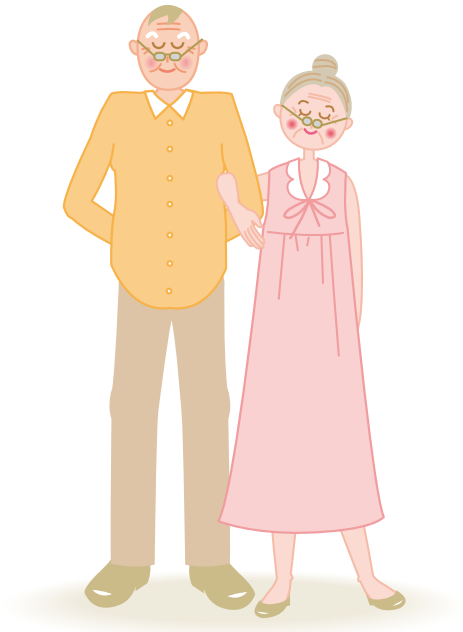
待合室·回復室の整備は、内視鏡スタッフの悲願でもありました。従来の内視鏡室は、待合室が外来と共用であったため、患者様にたいへんご不便をおかけしておりました。広々としたスペースの静かな待合室·回復室で、患者様にゆったりと落ち着いた気分で過ごしていただけるよう引き続き充実を進めてまいります。ウォシュレット付トイレも増設いたしました。

経鼻内視鏡は、細い内視鏡を鼻から挿入して胃の中を観察する内視鏡です。従来の口から挿入する内視鏡よりもさらに苦痛の少ない検査が可能となりました。ただし、経鼻内視鏡には、視野が狭い、胃液の吸引や送気に時間がかかる、治療には使用できないなどの欠点もあるため、患者様の病気に応じて使い分けをしています。

拡大内視鏡やNBIは、癌の早期発見、早期治療に役立つ最新の内視鏡機器です。大学病院並みの検査体制を整備することで、より簡便に精密検査をすることが可能となりました。

まだまだ、今後も整備·充実しなければならない点も多々ありますが、まずは"より安全で、苦痛の少ない、精度の高い内視鏡検査"を当センターの理念とし、患者様の目線に立った検査ができるようスタッフ一同、力を合わせてがんばってまいりたいと思いますので、今後とも内視鏡センターをどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

物忘れが気になったら病院へ！



神経内科医長　伊藤雅史

痴呆症の名称が、差別や偏見を助長するニュアンスがあるとの理由から、認知症に変わったのが平成16年でした。私達の日常において認知症は、様々なメディア（映画や書籍など）で扱われるようになってきたため、身近なものになってきたかもしれません。

長寿、高齢化社会をむかえるのに当たり、物忘れは重要な症状と思われます。定年を過ぎても元気に働ける人が増えてきたのと同時に、介護を必要とする人もどんどん増えてきています。少子化、核家族が介護困難を引き起こし、医療費削減、在宅医療の推進が、ますます介護という行為を非現実的なものにしているのではないでしょうか。よって、認知症の早期診断、予防、対策、治療を適切に行うことによって、患者さん本人の苦悩や、家族の介護負担というものが、少しでも軽減されることが期待されます。

物忘れ → 加齢による物忘れ

認知症 → 病　気

認知症という言葉の理解に、我々医療従事者においても誤解が多々みられるため、説明をしたいと思います。物忘れには、年齢相応の、病気ではない良性健忘と、病的な物忘れである認知症に分かれます。また、物忘れ症状において重要な鑑別は、老年性うつといった精神症状や、肝腎不全、高カルシウム血症、高アンモニア血症、甲状腺機能低下症、ビタミンB1欠乏、神経梅毒、水頭症、慢性硬膜下血腫などが原因の意識障害です。同じ物忘れでも、早期発見によって治療可能な疾患もあるため、病院受診は必要です。

それでは、病的な物忘れである認知症にはどのようなものがあるかというと、代表的なものはアルツハイマー病、脳梗塞が原因の脳血管性認知症、パーキンソン病関連疾患などがあげられます。認知症=アルツハイマー病と理解されることが多いようですが、認知症は病的物忘れの総称です。アルツハイマー病も早期診断をうけることによって、進行予防薬の早期対応、家族の認知症対応や介護の勉強、準備が可能となります。自分のご家族に中に物忘れが目立つようになってきた方がいらっしゃいましたら、是非、病院（神経内科、精神科など）受診をご検討ください。

物忘れと認知症の違い

認知症	物忘れ
病気である	病気ではない（加齢による物忘れ）
体験したことを【全部】忘れる	体験したことを【一部】忘れる
時間や場所を忘れる	時間や場所は覚えている
忘れたことを自覚しない	自覚がある　思い出そうとする
どんどん悪化する	少しずつ進行する

シリーズ　くすりの知識【４】

薬の使用時の注意点
ー高齢者ー

薬剤科　小野博史

薬を使用する場合、代謝や吸収が成人とは異なるため、高齢者、新生児、小児、妊婦、授乳婦等は特に注意が必要です。その中で今回は高齢者についてお話しします。

【1】薬の吸収

胃酸分泌量の低下、消化管運動機能の低下、消化管血液量の低下、消化管粘膜面積の減少がみられます。

【2】薬の代謝

肝臓の重量と血流量も減少するため、その代謝能が低下します。薬は肝臓で代謝されるものが多く高齢者では代謝が低下します。

【3】薬の排泄

腎臓のネフロンの数や腎臓の血流量は減少し、腎臓の機能が低下します。

したがって、腎臓から排泄される割合の高い薬では、腎臓の機能低下により、薬の体内からの消失が遅くなり、薬の血液中の濃度が高くなることがあります。

薬の投与時の注意点

薬の代謝や排泄する能力が低下するため、体内に薬が蓄積し、作用が強く発現することがあります。また、薬に対する反応性が変化して、感受性が増大または低下することがあります。運動能力などの低下により転倒しやすくなりますが、転倒の危険因子の１つとして向精神薬や起立性低血圧を起こす薬などの服用があげられます。

理解力が低下していることがあり、飲み忘れ、過誤による過量服用の危険性があります。

複数の疾患に罹患し、多くの薬を併用していたり、複数の医療機関で薬が処方されていることがあります。そのため、重複投与、同効薬の投与、薬物相互作用に配慮する必要があります。これらの事を未然に防ぐために各個人にお薬手帳が配布されており、各診療施設で処方された薬をそれぞれ記載することができるようになっています。他の医療機関を受診した時に、現在服用している薬を提示できますし、アレルギー歴や副作用歴を記載しておけば再投与を未然に防ぐことが可能となります。また、かかりつけ薬局を決めておくと、薬歴が管理されており、副作用防止に役立ちます。

薬局ではお薬の説明書を提供しており、それには薬効や副作用がわかりやすく簡潔に記載してあるので、薬とともに保管しておくと、いつもと違うことが起こった場合、再確認が可能です。副作用や相互作用は早期発見が非常に重要となるので、いつもと違うと感じたときには医療従事者に相談することが大切です。

専門外来開設のご案内

患者様のご要望にお応えするため、この9月から下記の2科の外来診療が始まりました。

■眼　科：毎週　金曜日　午前9時～12時
■皮膚科：毎週　火曜日　午後1時30分～4時30分

受診ご希望の患者様は、医師又は看護師にご相談ください。

天使のたまご

平成19年度　ふれあい看護体験

行事委員会　西5病棟　大根田　美奈子

平成19年8月1日、平成19年度ふれあい看護体験がおこなわれました。近隣の中・高生から13名の参加があり、午前は5グループに分かれ、各病棟看護師の指導のもと患者様とのコミュニケーション、援助等の看護体験をおこない、午後は、車椅子乗車、ストレッチャー操作、血圧測定など実施してもらいました。初め参加学生は、白衣に身を包み、うれそうにその姿をカメラにおさめあう姿がありました。その後、他部門の説明をワーキングスタイルで行いました。しかし、いざ各病棟へいくと、今までの笑顔から緊張の表情へと変化し、参加学生の表情も硬く「難しい、どうしよう。」など緊張、不安で一杯の様でしたが、担当者の丁寧でやさしい指導や、患者様に快く協力をいただいたことで、手・足浴、洗髪、清拭、環境整備、配膳など援助を実施することができました。そして、患者様から笑顔一杯の「ありがとう。」の言葉をいただき、学生の表情にも笑顔が戻りました。体験後は「楽しかった!」と殆どの学生が、足取り軽く口を揃えて戻ってくる姿がありました。午後は、実際に車椅子乗車など患者側に立った体験をすることで、患者様の気持ち、操作の難しさを理解することができました。私達看護師は、学生が1本1本一生懸命丁寧に患者さまの足の指を洗う真剣な眼差しをみて、「本来の看護師の姿とは」を考える良い機会ともなりました。反省会では「患者様に喜んでもらい良かった。人の役に立てて良かった。体力のいる大変な仕事。でも、今回立派な看護師をみて、このような看護師になりたいと思った。」など看護師を志す良いきっかけとなった意見が多く聞かれ、収穫のある喜ばしい結果となりました。

是非来年度もふれあい体験を開催することで、私達と同じ看護の道を目指す方々のお手伝いが出来る様、計画を立てたいと思います。

看護師募集

■ 職　種
常勤看護師（夜勤のできる方）
新卒者、既卒者でブランクのある方も研修があり安心です。

■ お問い合わせ
月～金曜日　8:30～17:00
TEL 028-673-2111（人事係へ）

いつでもご相談に応じます

シリーズ SERIES 研修報告

災害医療研修

外科 小川　敦

9月7日に自分を含む西5病棟小林誠子師長と東6病棟薄根由紀看護師、事務の難波田さんの4人でNHO宇都宮病院を代表するチームとして、立川の災害医療センターで行われた災害医療研修に参加してきました。

大型台風9号がすぐそこに迫る中、当日に電車が不通になる事態も想定し、みんなで相談の上、前日から出発して、災害医療センターのある立川で前泊する方針となりました。

あいにく自分は緊急手術のため、みんなと行動を共にすることが出来ず、一人遅れて、立川へ向かうこととなってしまいました。ところが、台風による強風と暴雨のため、完全に電車が不通となり、川口で立往生となってしまいました。電車が動かないため、仕方なく長蛇の列を成したタクシー乗り場でタクシーを拾い、「立川まで!」と言ってみたものの、「首都高も通行止めだし、台風だから行けないよ」と断られる始末。なんとか赤羽まで連れて行ってもらったものの、そこからはタクシーすら捕まらず、しかもこの時点で荷物を電車の中に忘れてきていたことに気付きました。

踏んだり蹴ったりの中、ようやく動き出した電車を乗り継いで新宿まで辿り着いた時には、深夜12時を過ぎ、みんなに連絡を取ってみると、立川で予約していた宿もシャッターを下ろしてしまったとのことでした。暴風雨の中、新宿で宿を探すもどこも満室で、何とか空いていたのは身体障害者用の部屋1室だけでした。

こうして、災害時に出動し、災害現場に行くということが、どれだけ大変なことかということを、身をもって実習しながら、なんとか無事に災害医療研修を受けてくることが出来ました。

前置きが非常に長くなってしまいましたが、実際の研修ではトリアージの基本を学び、それを元に、模擬患者を使った実践演習を行いました。さらに自分の病院が災害に見舞われた時の対応の仕方、避難経路の確認など、普段は考えもしないことを、これまでの震災の経験談などを聞きながら、勉強してきました。

そしてやはり最も衝撃を受けたのは、災害医療センターで毎年行われている、実際に直下型大地震が起きたことを想定した模擬訓練の見学でした。サイレンとともに地震を告げる放送が流れると、迅速に本部が立ち上がり、二次災害の対応・準備やライフラインの確保が早急に行われました。そのうち訓練用の救急車が次々とやってきて、患者役の看護学生がプロのメイク師に本物のように創傷をペイントされ、運ばれて来ました。すでに準備を終えたトリアージポイントでトリアージを効率よく行い、患者を重症度別に振り分けていく様子は、見ているだけで興奮を覚えました。さらには押し寄せるマスコミ対応まで訓練の中に組み込まれており、非常にハイレベルな訓練だと感じました。

自分は外科を専門としていますが、こういった災害医療にも興味を持っていたため、今回の研修は、到着までの道のりを含め、大変勉強になり、よい経験が出来ました。

最後に医療従事者の誰もが知っておくべきトリアージの研修報告のまとめとしたいと思います。

- □ 歩行可能 → 【緑】
  - 歩行不能
  - ↳ □ 気道確保した後に呼吸がない → 【黒】
    - 自発呼吸あり
    - ↳ □ 呼吸数　1分間に8回以下あるいは30回以上 → 【赤】
      - 呼吸数9～29／分
      - ↳ □ 橈骨動脈を触知しないあるいはRCT（爪を2秒圧迫し、爪の色が赤く戻る時間）が2秒以上 → 【赤】
        - 脈を触れ、RCT<2秒
        - ↳ □ 呼びかけに反応しない → 【赤】
          - 呼びかけに反応あり
          - → 【黄】

【練習問題】

(特).	45歳	女性	腹部の強い痛みを訴えている。呼吸26回、橈骨動脈微弱、RCT3秒
(監).	19歳	男性	裸足でガラスの破片を踏み、歩行できない。呼吸20回、脈拍76回
(企).	89歳	男性	Level Ⅲ-300、呼吸なし、橈骨動脈微弱
(協).	2歳	女性	大声で泣いている。右手を動かさない。一人で歩くことは出来る。
(労).	37歳	男性	しゃがれ声。どこかの病院で外科医長をしているらしい。歩行可。大酒家。ヘビースモーカー。血圧高め。自信家。呼吸荒い。

職場紹介

リハビリテーション科

作業療法士長　中田　純

左上より　西村·中田·奥津　左下より　田村·高野·伊澤·廣田·山田

リハビリテーションは、障害を持った方が充実した生活が出来るように、基本的動作能力の回復などを目的とする理学療法や、応用的能力·社会的適応能力の回復などを目的とした作業療法、言語聴覚能力の回復などを目的とした言語聴覚療法などの治療法によって構成されており、当院スタッフは、理学療法士（4名）作業療法士（2名）言語聴覚士（1名）理学療法助手（1名）の計8名で医師の指示の下、各種医療チームと協力し治療·訓練·指導を行なっています。

対象疾患としては、変形性股·膝関節症に対する人工股·膝関節置換術の症例が多く、また、脳血管疾患·呼吸器疾患·障害児（者）など幅広い疾患にたいしリハビリテーションの提供を行なっています。

リハビリスタッフは皆様とのコミュニケーションを大切にし、互いの理解を深め、最良のリハビリテーションの提供する者として自己研鑽に日々励んでいます。

職場紹介

西2病棟

看護師長　遠藤勝世

みなさんこんにちは。西2病棟です。私たちの病棟は、消化器内科·呼吸器内科·循環器科を中心に、緊急入院患者や慢性疾患で高齢者が多く家庭復帰を目標に援助しています。時には生命の危険にさらされた患者さんがいたり、管理の大変な高度医療機器を取り扱う場面に遭遇することもあります。私たちは積極的に専門の勉強会をするなどして、患者さんに安全で安楽な入院生活が出来るよう努力をしている毎日です。最近の課題は、患者さんにより良いサービスを提供するために、コミュニケーションを多くとっていくことです。ここだけの話、当病棟は院内で一番看護師の平均年齢の若い病棟なのです。私たちはパワーと希望に満ちあふれています。もし入院することがありましたら、遠慮なくナースコールをして、私たちの元気をフル活用で退院していってくださいね!

病院ボランティアグループ募集

当院では、外来患者さまのご案内、院内外の環境整備（清掃·除草等）などの病院ボランティアをしていただける方を随時、募集しております。あなたのやさしさをお待ちしております。

問い合わせ先　管理課まで（内線:141）

開催決定!! ドナルド・アピアランス　2007

今年もドナルドが遊びに来ます！みんなで会いに来てくださいね☆

■日時：平成19年10月17日（水）　■時間：17時15分～18時15分　■場所：当院外来ロビー

編集後記

この広報誌が、職種を超えた横の繋がりを強くする機会になればと考えています。ご意見、投稿、写真などご協力ください。ちょっと受けねらいでもいいですよ、ね（!?）

手術室看護師長　神山　淳子

表紙撮影:手術室　神山淳子

外来診療担当医表

平成 19年 10月 1日現在

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科（初診）						
内　　科		戸田　正夫	戸田　正夫	沼尾　利郎	岡田　壮令	沼尾　利郎
外　　科		富沢　健二	富沢　健二	小川　　敦	小川　　敦	増田　典弘
糖尿病代謝内分泌科（皮膚科・月曜午後）		栗山　源慎 栗山　源慎	森　　豊 森　　豊	森　　豊 森　　豊	栗山　源慎	石井　博尚
神　経　内　科		伊藤　雅史			椎葉　千恵	
消 化 器 内 科		内園まり子	菅谷　洋子	藤井陽一朗	小嶋　和夫	菅谷　洋子
循 環 器 内 科			箕田紳一郎(第2･4)	伊藤　　致		箕田紳一郎
腎　臓　内　科（午後）[予約制]					岡田和久(第2･4)	
呼 吸 器 科	再　診	岡田　壮令	沼尾　利郎	戸田　正夫	降籏　友恵	鹿島　隆一
アレルギー外来	午　後	戸田(隔週)		戸田(隔週)		
小　児　科	午　前					
受付（午後）14:00~16:00	午　後		予　防　接　種（小児）[予約制]		子供養育相談ルーム[予約制]（第2･4）	
小児アレルギー外来（午後）[予約制]					中野俊至(第1･3)	
小児神経外来（午後）		奥野　章(第3)				
外　　科	午前2診	増田　典弘	伊藤　知和	増田　典弘	増田　典弘	伊藤　知和
	午後1診	富沢　健二	富沢　健二	小川　　敦	小川　　敦	小川　敦(隔週) 富沢健二(隔週)
整 形 外 科	1　診	田中　孝昭	真島　敬介	服部英和（第１） 田中孝昭（第２） 真島敬介（第3･5） 菊地隆宏（第４）	菊地　隆宏	熊谷　吉夫
	2　診	真島　敬介				菊地　隆宏
リ ウ マ チ 科				熊谷吉夫(第1･3･5) 松葉　健（第２） 田中孝昭（第４）		
リハビリテーション科				菊地　隆宏	菊地　隆宏	菊地　隆宏
装　具　外　来		田中　孝昭				菊地　隆宏
※耳鼻咽喉科（午後）			添田　　弘			
※歯　　科			渡辺　裕子	渡辺　裕子	渡辺　裕子	
眼　　科（午前）						永田万由美
皮 膚 科（午後）			吉田　隆洋			
禁煙外来(保険外診療)	午　後	戸田　正夫		戸田　正夫		沼尾　利郎

病院紹介

- 外来診療受付時間　8:30～11:00
  外科は、午後も診療を行っております（午後の診療受付時間 14:00～16:00）
- 月曜日午後の糖尿病代謝内分泌科は、入院及び外来他科からの依頼患者さまに対する皮膚科領域の診療を行います。
- 耳鼻咽喉科、歯科に関しましては入院患者さまのみの診療となります。
- 眼科･皮膚科につきましては、地域医療連携室におきまして電話での予約を受け付けております。
  眼科診療時間　9:00～12:00　　皮膚科診療時間　13:30～16:30
- 地域医療連携室　TEL 028-673-2374（直通）　FAX 028-673-1961（直通）
  担当　永山悦子（ケースワーカー）、宇梶多恵（ケースワーカー）

独立行政法人
国立病院機構(NHO)
宇都宮病院

〒329-1193　栃木県宇都宮市下岡本町2160
TEL 028-673-2111　FAX 028-673-6148
http://www.hosp.go.jp/~utsuno/